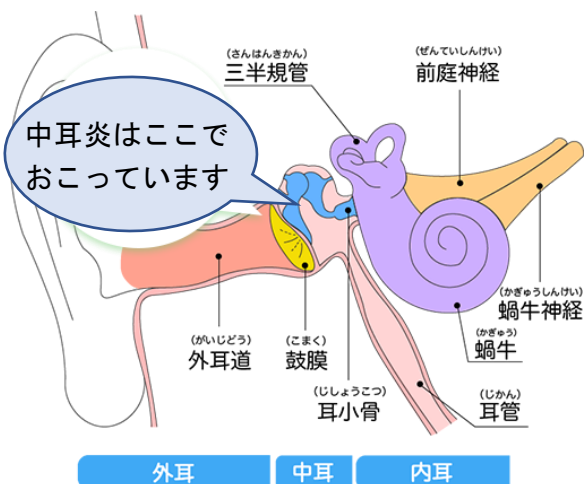


『3月3日』は耳の日に寄せて

『3月3日』は「みみの日」です。耳は、音を聞いたり、身体のバランスを感じ取ったりする大切な器官です。子どもの耳ならではの特徴を知って、耳を守りましょう。

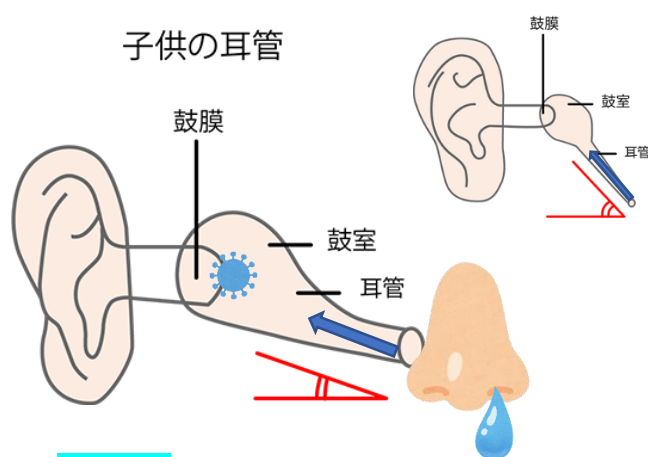
中耳炎とは？



子どもの耳は…

中耳炎になりやすい

中耳は『耳管』という管で、鼻の奥とつながっています。子どもは大人に比べて耳管が短く、傾きがなだらかなため、鼻の中のウイルスや細菌が耳管を通して中耳に入りやすく、中耳炎を起こしやすいです。



症状

中耳炎は鼓膜の後ろの部分に細菌やウイルスが入ってしまい、**耳閉感・耳痛・耳鳴り・発熱・耳垂れなどの症状**がでますが、症状には個人差があります。

子どもの場合は痛みを訴えるのは難しく、耳の不快感から頻回に耳を触るなどの動作がみられます。

保育園の子どもたちも鼻水が長く続く風邪から中耳炎になるケースが多いので、鼻水だけでも早めに受診するのが理想的です。

治療

治療は**内服の抗菌薬**です。きちんと治療をすれば1～2週間で完治します。

「子どもの中耳炎はよくある病気だから」と軽くみるのは禁物。何度も繰り返したり、途中で治療をやめると「滲出性中耳炎」に移行する場合があります。

病児保育のご案内 かわなこどもクリニック『かंगाる一む』

病児保育では熱が高い時や具合の悪い時、インフルエンザなどの感染症の場合も、お預かりをしています。

仕事などでどうしても休めない・呼ばれてもお迎えにいけない時など悩むときはありませんか？登録だけでも事前におけば「いざ困った！」というときに利用しやすくなります。保育園でも上手に利用されているご家庭が多くいますよ。

見学会のお知らせ

3月4日・18日（土） 10時～12時

4月1日・15日（土） 10時～12時

☆予約は必要ありません。感染症防止のため、個室で対応します。混雑時は外でお待ちいただくこともあります。

保育園玄関のホワイトボードの後ろにパンフレットがあるので、気になる方はご自由にお持ちください。